



チェック	空気側	温水	冷水
TAB業者は、設計技師および工事業者とともに建設図書とシステムとをチェックし、各システムの設計意図を十分に理解した。			
TAB業者は計画書作成前に、TAB作業へのBAS利用について制御業者と打合せした。			
全ての現場点検シートおよびログは計画書の一部として提出されている。			
使用する最終試験報告シートは計画書の一部として提出されている。			
現場および最終試験報告シートには、それぞれの試験対象機器とその収集データセルがリストにされている。			
ダクト図面および配管図面にどのような注記および記号を付けるかの協議			
計測すべき全ての風量、水量、騒音レベル、システムの能力と効率を列記し、夫々に適合した試験手順、パラメーター、計算式、計測用の試験装置の型式について記述され、記入例が添付されている。			
TAB作業をするための順を追った詳細な手順：（夫々のターミナルに対して）ターミナルでの流量のキャリブレーション、吹出口風量の調整、分岐管/準主管ダクトでの風量調整、全風量の計算、再チェックなど。水側についても同様。			
全流量決定の詳細（空気側：校正されたBSAの読み値かフードを用いた吹出口での読み値の合計か。ピトー管トラバース法によるか流量計測装置による給気・還気風量か。水側：ポンプ性能曲線法、サーキットセッター法、水量測定装置、超音波水量計などのいずれか）			
空気側、水側とも可能最低圧力で運転されていることを保証する(かつ確認できる)特定された手順			
あらゆる条件の下の外気による換気基準をTAB業者が明確に理解している			
最小外気取入れ量の確認と設定がどのように為され、またどのレベル(建物全体かゾーンかなど)で行われるかの詳細			
建物静圧と排気ファン/レリーフダンパー容量をいかにしてチェックするかの詳細			
使用される計測機器の内容と種類、および最近実行した校正の日付			
騒音計測を行うべく選んだ地点			
フェーズに分けて(例えば階順に)行うTAB作業の詳細、あるいは後に建て増しされる区域の詳細			
延期された、或いは季節TABとして後で行われるTAB作業の詳細			
TAB作業を完了させるために疑似負荷を与えると明記された場合はその詳細			
全ての排気ファンの調整と能力確認の詳細、並びに必要とされた圧力差。		Na 該当せず	Na 該当せず
不一致、不具合あるいは他の業者による不完全な作業、請負内容の解釈と官僚試験リスト等について現場技術者が手書きのログを作るための計画（報告の範囲と頻度）			
公式の作業進展報告書の計画（報告の範囲と頻度）			
公式の不具合報告書の計画（報告の範囲、頻度および配布）			

Comments:

- パート2のチェックリスト項目は全て遺漏なく完了.....\_\_ はい \_\_ いいえ

--チェックリストの終わり--

Comments: